

平成 22 年度 動物実験に関する現況調査票

昭和大学

平成 23 年 8 月

**I. 動物実験に関する組織**

機関長	職名 学長	氏名 片桐 敬
事務担当者	職名 総務部総務課係長	氏名 及川 亮
同 連絡先	TEL 03-3784-8011	FAX 03-3784-8012
		e-mail ryoz@ofc.showa-u.ac.jp
動物実験委員会 委員長	職名 医学部	教授 氏名 塩田 清二 (解剖学)
同 委員	職名 医学部	教授 氏名 諸星 利男 (病理学)
同 委員	職名 医学部	教授 氏名 大塚 成人 (解剖学)
同 委員	職名 医学部 (臨床)	教授 氏名 秋澤 忠男 (腎臓内科学)
同 委員	職名 医学部 (臨床)	教授 氏名 土岐 彰 (小児外科学)
同 委員	職名 医学部 (臨床)	教授 氏名 吉村 吾志夫 (腎臓内科学)
同 委員	職名 歯学部	教授 氏名 山田 庄司 (薬理学)
同 委員	職名 歯学部 (臨床)	教授 氏名 新谷 悟 (口腔外科学)
同 委員	職名 薬学部	教授 氏名 吉田 武美 (毒物学)
同 委員	職名 薬学部	教授 氏名 本田 一男 (薬理学)
同 委員	職名 保健医療学部	教授 氏名 浅野 和仁 (病態生理学)
同 委員	職名 保健医療学部	教授 氏名 石野 徳子 (精神看護学)
同 委員	職名 教育部	教授 氏名 倉田 知光 (薬理学)
同 委員	職名 共同施設	准教授 氏名 荒田 悟 (実験動物学)

委員の数に応じて、表の行を増やしてください。

**II. 機関における動物実験の概要**

1. 動物実験を行う主たる研究分野

- 医歯薬学分野
- 畜産・獣医学分野
- 生物科学分野
- 理工学分野
- その他 ( )

2. 年度ごとに使用した実験動物の種類と概数

動物種	概 数				
	1 8 年度	1 9 年度	2 0 年度	2 1 年度	2 2 年度
マウス	7,656	9,181	12,459	12,280	14,025
ラット	3,635	2,886	2,661	3,125	1953
ウサギ	107	42	36	19	16
モルモット	137	130	95	67	45
スナネズミ	90	288	411	35	0
イヌ	13	12	0	0	0

動物種の数に応じて、表の行を増やしてください。

### 3. 年度ごとの承認された動物実験計画数

動物実験計画数	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	367件	357件	360件	404件	411件

### 4. 年度ごとの動物実験に関する教育訓練の受講者数

教育訓練受講者数	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	103人	129人	135人	281人	124人

### 5. 実験動物飼養保管施設の現況

施設の名称	管理者の職・氏名	実験動物管理者の職・氏名(関連資格・経験年数)	動物種	最大飼養頭数(概数)
昭和大学動物実験施設	教授・塩田清二	准教授・荒田 悟 (施設管理年数9年)	マウス	9,500
			ラット	1,800
			ウサギ	80
			モルモット	200
			イヌ	12

飼養保管施設の数に応じて、表の行を増やしてください。

### 6. 特記事項

(動物実験に関連した、機関の特徴や特殊事情)

昭和大学は、医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部からなる医系総合大学である。全学部の動物実験における計画書の審査、実験の把握、終了報告書の管理などは、本学の動物実験委員会が学長の諮問を受けて一括して担当している。施設は、平成22年9月に藤ヶ丘病院の実験動物施設の使用を終了したため、動物実験施設(旗の台)で全学部のほぼすべての動物実験が行われることになった。このように、基礎研究室および臨床研究室の集中する旗の台キャンパスにおいて、単一の委員会のもと単一の施設で動物実験は行われる。その長所としては、大学全体として動物実験に対する管理、把握、及び教育活動は比較的行きやすいこと、実験者同士の情報交換が盛んなこと、および、各学部、及び富士吉田教育部から専門性の異なる委員を選出できることなどがある。短所としては、計画書の審査件数が毎年400件程度と膨大になること、また、動物実験が多種多様であり十分な実験スペースの確保が難しいところがある。